

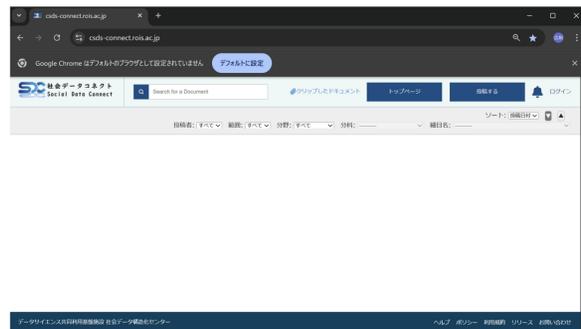
データ共有・交流プラットフォーム 「社会データコネクト」の始動

社会データ構造化センター
センター長 前田忠彦
芝井清久・田中康裕・町屋広和

<https://csds-connect.rois.ac.jp/>

【要点】

- センターで準備してきた「社会データプラットフォーム」の構想がようやく固まる
- 主に「社会調査データ提供事業」におけるデータ提供と、その後の研究成果報告や研究交流を意図し、近々運用を開始（予定）
- プラットフォームの名称「社会データコネクト」の意図は「研究者間のコミュニケーションを増やし知を広げる」
- 本ポスターでは、次のような内容を紹介します：
 - 「社会調査データ提供事業」「社会データコネクト」のための規約整備
 - 社会データコネクトのシステムについて
 - 当初コンテンツとして用意した「国際比較調査データ」の概要



社会調査データ提供事業のための規約類整備

多様な利用目的・多様な利用資格に対応可能なデータ区分の設定やデータ区分に基づくデータ寄託・データ提供の規約・社会データコネクトの利用規約を整備。

研究データ

- 可能な限り調査時に取得した源データを提供。
- センシティブな情報を保護する観点から、研究目的での利用と研究機関に所属する研究者に利用目的・資格を限定。

汎用データ

- 研究目的以外に教育・行政・商用など多様な目的で利用可能。
- 多様な利用目的・利用資格で利用可能なように利用可能な変数に制限をかけたり、変数のカテゴリ化などの加工処理を行う。

社会データコネクトの設置

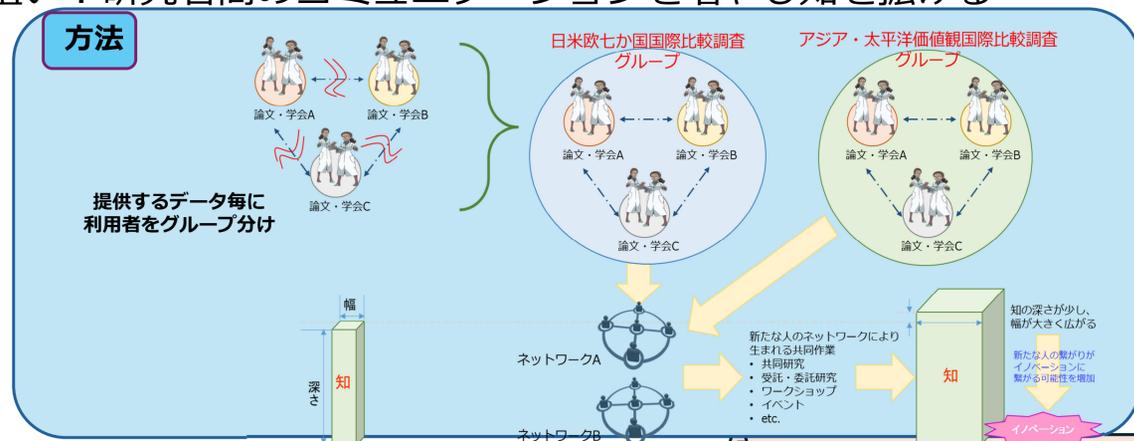
- 社会データコネクト上に提供データの種類に応じた交流グループ「コネクト」を設定

データ提供事業HP

https://csds.rois.ac.jp/research/social_survey/pj1/

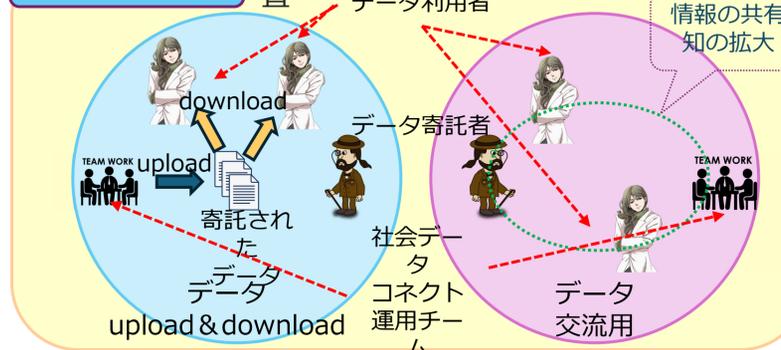
社会データコネクトのシステムについて

狙い：研究者間のコミュニケーションを増やし知を広げる



データグループ

日米欧七か国国際比較調査



メリット：

- データ寄託者：**
- データ利用者の声の取得
- データ利用者：**
- データについての知見やトリビアの取得。過去の投稿や聞くことで知ることが出来、余分な時間を削減
 - データを通してヒトとのネットワークが出来る
- ※寄託者の参加は任意、寄託者はuploadしなくても、upload&downloadに参加不要、寄託者であることを明かす必要なし
- ※グループの退会は自由
- ※upload&download可能な期限あり、交流用は期限なし

公開した国際比較調査データ4つのうち3つのアジア地域調査データには連続性があり、同時に使うことでより詳細な分析が可能。

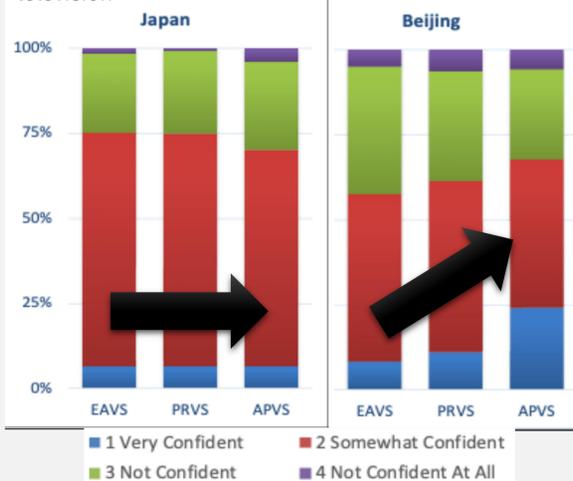
東アジア国際比較調査 (2002-05)



環太平洋価値観国際比較調査 (2004-09)



Q. How much confidence do you have in - The press and television



アジア・太平洋価値観国際比較調査 (2010-14)

